

第 53 号
平成 25 年
4 月
HP に 創刊号から
連載中

もう一つの道

情報は、うのみにせず、注意
深く徐々に試してください。

山田整骨院
熊本市中央区出水 4-245-1
096-364-7611

<http://yamadasu.com/>

熊本交通事故、山田整骨院

<http://www.jiko-kumamoto.net/>

第一回学祖顕彰祭記念講演

昭和 38 年 1 月号 月刊西医学

排泄について 難波精三

排泄とは体内のものを体外に出すことで、食物から栄養分を摂ったカスを大便として肛門から、脂肪や含水炭素の分解物質は炭酸ガスとして鼻から、汗は皮膚から、そして蛋白質の分解物質の尿酸は小便として体外に出す、これらはみな排泄なのであります。…略…大便は三日や四日出なくても直ちに害をうけません、尿が数日出なければ、それこそたいへん、生命にかかわります。また出ることは出ても、少量しか出ない場合は体内に尿酸が溜まって、その溜まる場所によっていろいろな病気をひきおこします。略…昭和 6, 7 年のころであったと思いますが、とにかく古いことですが西先生が尿酸病原説を説かれた時代がありました。略

昨年春ごろであったかと思いますが、大阪西会の相談室にまだうら若い婦人が訪ねてまいりました。その訴えによると、手の指を曲げようとすると、関節が痛んで握れないし、また頸もこってまがらないし、夜中にふと目を醒ますととくにひどくなっている。医師の診断を受けた所が、一種のリューマチだろうということで治療を受けているが一向によくならない。ある人から西式を教えられて懸垂、温冷浴、毛管をやっているが頸のこりはやや軽減したが、やはり指の関節の痛みはとれないというのです。

医師がそう教えるのが当然でありましょう。もし、私に書面による質問であったなら同じような返事を認めたであろうと思います。それは親指と人差指は頸椎七番の上から出ている神経が関係し、中指、薬指、小指の半分は七番の下から出ている神経、あとの半分は胸椎の一番が関係している訳でありますから、まず、これらの副脱臼を矯正することを第一に思いつくからであります。就寝中にひどくなる現象があるとすれば、枕の適否ということも思い浮かべるでしょう。しかし、頸椎の副脱臼が原因とすれば、右の方法で既に治っていなければならない筈です。この時、頭に浮かんできたのが西先生のお説きになった尿酸学説であります。

この説によりますと、腎臓の働きが悪くなったり蛋白質を摂りすぎますと、

血中の尿酸が増して関節や筋肉中に溜まります。関節に溜まれば関節痛、その溜まった場所で肋間神経痛や、歯痛、腰痛、肩のこり、このこり方は筋肉が岩のように堅くなって仕事もなにもできません。また、歯痛は神経にピリピリというような痛みが走って、ときには目が痛くなることがあります。

所でそれから後、この婦人を皮切りに、私の相談日には必ず二人や三人、同一の症状を訴えてくるようになり、略…そこで私は、こうした人達に利尿法を授けました。それは野菜粥を食べることです。夕食時の野菜粥は特に効き目が早くあらわれます。夜中二、三回は小便のために起きなければなりません。このことは予め言うておいて、覚悟をさせる必要があります。それでない、こんなに小便で起こされては睡眠不足のために、翌日の仕事にさしさわると心配するからです。略…そこで私は、「睡眠が不足するということは一つには小便を我慢するからであります。我慢しては、おちおち眠ることができません。それからもう一つには、こんなに起こされては翌日が案じられるという不安が寝つきを悪くするのです。だから、小便を催しそうになったら、ありがたや、ありがたやと、これで毒素が体から抜けていくと、喜び勇んで、なんのちゅうちょもなく、便所にゆきなさい。そうすれば平安な気持ちで、床に帰るとすぐ眠りに入ることができます。略…

野菜粥は六分粥に煮て（六分粥とは米一合に対して水六合の割で煮た粥のこと）炊き上がりましたら、予め用意しておいた葉っぱ三種類以上を鍋の中に入れ、すぐ火からおろしてむらせます。鍋は土鍋が一番よろしい。野菜の量の多少によって尿量が変わります。米と葉っぱを等分にすれば、三、四回夜中に起きます。でありますから、神経の高い人には野菜を減じて、起きる回数を減らすようにいたします。葉っぱには内のものを外に排泄する作用があり、根は外のを内に吸収する働きがあります。この場合には、排泄が主たる目的ですから葉っぱだけにします。大体三日間で、効果は充分あります。以下略

解 説

尿酸がたまって関節が痛くなるのは、痛風が有名です。痛風は「帝王の病気」と言われ、肉食等の高カロリー食によって起こり、ビールの多飲もその一つで、ぜいたく病とも言われます。一番症状が出るのが足の親指のつけ根で、その他に足首、手の指の関節、手首の関節なども冒されます。尿酸病は尿酸が体にたまり過ぎるのが原因ですので、尿酸を作り出す蛋白質を多く摂らないことと、尿酸を速やかに排出するのが療法となります。尿酸病では血中の尿酸量が多くなります、利尿、すなわち小便の通じをよくすることが、血中の尿酸量を減らすこととなります。野菜粥はそういう意味があるということです、西式では、生水（湯さましではない）を一日2リッター、ちびちび飲むよう指導しますが、それも利尿法です。

